

子どもが安心できる空間を

NPO法人子どもシェルターぐんま 設立記念シンポジウム

日時 1月25日(土) 13:00-16:00 (開場12:30)

場所 群馬大学荒牧キャンパス教育学部C棟204教室

基調講演 坪井節子氏 (カリヨン子どもセンター理事長)



講師プロフィール

1978年3月 早稲田大学第一文学部哲学科卒業
1980年4月 東京弁護士会にて弁護士登録。1984年4月坪井法律事務所開設。1987年11月から東京弁護士会子どもの人権救済センター相談員、東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会委員など。2004年6月からNPO法人、2008年3月から社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長

上映 子どもシェルター経験者へのインタビュー

リレートーク 児童相談所長 女性と子どもの命を守るNPO法人の方
女子少年院長 児童養護施設の方

報告 NPO法人子どもシェルターぐんま

(内容は変更になる場合があります)

参加方法 申し込み不要 参加費無料

共催：NPO法人子どもシェルターぐんま 群馬弁護士会
後援：群馬県 群馬県教育委員会 前橋市 前橋市教育委員会
群馬大学教育学部 群馬県児童養護施設連絡協議会
子どもシェルター全国ネットワーク会議
問合せ：電話 027-212-6080 (子どもシェルターぐんま事務局)

子どもシェルターとは・・・

虐待を受けて「今日泊まる場所がない」「逃げ出したい」など、安心して生活する場所のない子どもたちの緊急避難場所です。

子どもシェルターでは、子どもたちが心や身体を休められるよう、温かい食事や安心して眠れる場所を提供します。そして、子どもたちが元気を取り戻したら、今後の生活について大人と一緒に考えてゆけるよう支えます。

NPO法人子どもシェルターぐんまとは・・・

日本全国の弁護士たちの間で、上記のような子どもシェルターを作ろうという動きがあります。先鞭をつけたのは本シンポジウムで講演する坪井弁護士らが設立したカリヨン子どもセンター(東京都)です。

NPO法人子どもシェルターぐんまは群馬県でも子どもたちの支えとなるシェルターの設置、運営をするために設立されました。2020年秋頃の子どものシェルター開所を目ざし準備しています。

子どもシェルターぐんまの「今まで」「これから」

2018年5月、群馬県の弁護士有志により、子どもシェルターの設立をめざしたプロジェクトチームが発足しました。メンバーは各地のシェルターの視察や児童相談所をはじめとする県内関係機関と意見交換を行ってきました。

今では弁護士のみならず、このような関係諸機関や福祉関係の方々、寄付をして下さる方などに支えられ、シェルター開設へ向け、準備しています。

シェルターの運営には多くの方々の力が必要です。

群馬大学荒牧キャンパス 駐車場ご案内

